

高校生じゃない高校生年代の人に、  
犯罪から自分を守るためのメッセージを  
伝えるには、どうしたらいいと思う？  
(対面)

開催日：2025年7月26日（土）

## 内容

2025年7月26日回

高校生年代～

- おおむねここ3か月以内で、闇バイトや大麻の危険性についての情報に接したことはありますか？ .....3  
※19歳と20代の方は、高校中退後から卒業するはずだった時期ぐらいまでのことについても教えてください。
- 高校生ではない高校生年代の人に向けて、警察が非行や犯罪被害防止のための情報を発信する効果的な方法は何かと思いますか？ .....7

文書により提出された意見

※いけんひろばに参加を希望したが、都合により参加できなかったがらすメンバーに対し、任意で文書回答（アンケート）を実施

- おおむねここ3か月以内で、闇バイトや大麻の危険性についての情報を、見たり聴いたりしたことがある方にお聴きします。それはどのような内容のものでしたか。複数あった場合には、最も印象に残っているものを記載してください。 .....11
- 上記の設問で回答したものについて、どのような感想を持ちましたか。また、「もっとこうした方が良いのに」と感じた点があれば、あわせて教えてください。 .....11
- 高校生ではない高校生年代の人に向けて、警察が非行や犯罪被害防止のための情報を発信するには、どんな方法がよいと思いますか。あなたのアイデアを教えてください。なお、アイデアの数は何個でもかまいません。 .....11

2025年7月26日回

## 高校生年代～

### ● おおむねここ3か月以内で、闇バイトや大麻の危険性についての情報に接したことはありますか？

- ・ 闇バイトのメールが来たことがある。日給15万円とかの宣伝文句だった。
- ・ DMとかで私も来た。
- ・ メッセージの電話番号を調べると、フィリピンの電話番号だった。
- ・ 短期バイト求人アプリで闇バイトと本物のバイトとの違いが分からないという話を友達とした。結構隠語とかが多いみたいだ。

<そのアプリはみんな使っているのか？>

- ・ 自分は使ったことないが、周りでは使っている人がいる。
- ・ 私は使ったことがある。

<そのアプリで危険を感じたことはある？>

- ・ 有名な会社ではない求人で違和感を感じるのを見たことがある。

<危険をここ最近で感じたことがある？>

- ・ 地元の治安が悪く、大麻の売買等は聞いたことがある。駅を出てすぐの商店街に一晩中立っている人がいて、いけそうだなという人に声をかけていた。その人から甘い匂いがしていた。

<今まで危険性を周知するポスターを見たことや講演会に参加したことはある？>

- ・ 小学生の頃に薬物防止講習のようなものを受けたことがある。ポスターはよく見かける。駅とか家の近くのセンターみたいなところに貼ってあるのを見たことがある。

<そのセンターでは何が出来る？>

- ・ こどもの第二の家を目指しているというコンセプトのもと、こどもが自由に遊べたりご飯を食べられたりする。

<他に見たことがある人はいるか？>

- ・ 市役所の生活安全課とかにポスターが貼ってあるのは見たことがある。あと、学校の保健の薬物の授業を受けたのは覚えている。
- ・ 自分は薬物を使ったことがないので想像のつかない世界で、想像がつかないのが逆に怖い。依存しない自信がある程度あるが、依存から脱却できないとも思う。

<印象的だったポスターや講演会等があったか？>

- ・ 常識的にそういうものはだめだよと教えることには一定の意味があると思う。それでお金を得ている人たちを減らさないと根本的な解決にならないと思う。

<巻き込まれかけた経験とかはある？>

- ・ 自分はないが、闇バイトについてお金につられる人は一定はいるのではないかと思う。
- ・ また、薬物とかは見分けにくいので広まりやすいのではないかと思う。

<どう危険性を周知すればいい？>

- ・ どこで蔓延しているのかをはっきり教えてほしい。どこで大麻とか違法薬物が売買されているのかなどのエリアの情報があれば、意識して街を歩くことができると思う。

<警察の公式サイトや SNS を見たことはあるか？>

- ・ ある。警視庁と警察庁の違いが気になって調べたときに見た。闇バイトしないぞという警察庁のトラックが走っているのを見て気になったのがきっかけ。

<そこで覚えていることはあるか？>

- ・ 警察庁・警視庁どちらかは忘れたが、サイトが真面目で面白くなかった。一方はピーポくんがいて面白くて、一つ一つの犯罪に関するトピックスがピックアップされているのが面白かった。SNS について、警視庁の公式 YouTube は別の時に見たことはある。
- ・ 自分が小中学生だった時は、インターネットでつながった人とは会ってはいけないという教育だったが、今はネットでつながった人と会うのは当たり前になってきている。本来つながることがなかった、趣味が同じというだけで年齢が上の人もつながれてしまう。その影響で、薬物などの怖い世界で巻き込まれてしまう周りの人を見ていたので、目的意識をもって今日は来た。
- ・ SNS には普通に小中学生がいるので、つながりやすいと思う。
- ・ 入り口として一番大きいのは、小中学生向けの雑誌があると思う。雑誌の公式アカウントのフォロー欄にはその年代の子が固まっている。そこを狙おうと思えば狙えてしまう。

<友達がどういうトラブルに巻き込まれていたのか？>

- ・ 高校生の年代はお金がないが、上の年代の人はお金がある。上の年代の遊びに付き合っていくために、体を売ってしまう子がいた。最終的に働く中で、昼夜逆転してしまい学校に来れなくなって学校を辞めてしまったり、薬物に手を染めて逮捕されるという結果となってしまった。一人でそういう人を止めるのは限界があるので、国に動いてほしいという気持ちがある。

<お金以外のきっかけはあるのか？>

- ・ 親に愛情を注がれていなかったり、発達障害があったりとか、何かに依存しないといけない人はいるのか

もしもない。そういう人に悪気なく「体売ればいいじゃん」という言葉をかける大人もいて、それがそのコミュニティの常識になってしまっていたりする。そういう言葉をかけること自体が犯罪であることを周知すべき。

- ・ 闇バイトと分かってやっている人がどれくらいいるのか気になる。普通、昔は何十万円ほどの高額のものを買うのを我慢するしかなかったが、今は稼げる手段が出てきてしまった。昔よりこどもの行動の選択肢が広がったことも原因の一つと思う。

<ネットでつながった人とは会ってはいけないという意識は薄まってきているのか？>

- ・ 多分する側が巧みになっている。
- ・ 昔はすごい言われた。
- ・ 最近は言われないう感じがする。
- ・ コミュニティの自浄作用に期待するしかないと思う。
- ・ 闇バイトに関しては、短期バイト求人アプリ等の運営側がもっときっちり対応するべきだと感じる。
- ・ コミュニティに対して悪いイメージが付いたら継続ができない。コミュニティに合った形での講演をすることも良いと思う。
- ・ SNS 等で流れてきた広告はあくまで受動的。一人ひとり自分の関心のあるコンテンツがあり、実際に自分から動かなきゃいけないところで周知を行うことで、効果が増大するのではないかと感じる。自分の関心の関連の流れにそういう周知を差し込めれば良いなと感じる。
- ・ 昔は子どもにとって学校がすべてであったが、今はいろんなプラットフォームがある。そういう教育をしなくなったというより、学校の価値が相対的に下がってしまっているのではないかと感じる。
- ・ 警視庁・警察庁が主催するイベントに人気アーティストやインフルエンサーを起用するなど、影響力のある人の力を借りることで発信力は上がると思う。
- ・ 一日警察署長とか。
- ・ 0を1にするのは難しい。そのインフルエンサーへの興味だけで終わってしまいそう。

<警察の職員が直接参加できそうなコミュニティはあるか？>

- ・ 警察官が人気バンドのグッズを持つ。
- ・ ライブ会場とかテーマパークとか。
- ・ そういう危ない遊びをしている人はそもそもそんな場所には行かない気がする。

<そもそもなぜそんな大金が必要なんだろう？>

- ・ 家出とか。自立せざるを得ない環境に身を置いたら闇バイトに手を出すかもしれない。普通のバイトで何十万円は現実的に不可能。
- ・ 趣味に対するお金だけではなくて、その趣味のコミュニティでつながった大人が他の世界に巻き込んでしまうのを見た。
- ・ 闇バイトにしてもその他の非行にしても、両親との関係が希薄であることも原因として考えられる。普通の家庭の親なら心配するはず。ただ、反抗期の子どもは両親と親密というわけではない。その反抗期の

タイミングに付け込まれると闇バイトなどに染まりやすいのだと思う。そうじゃなくても部活とかをやっているとなおさらであると思う。私の友人の家では晩ご飯食べている時は、もう YouTube を見ながら食べていると言っていた。高校生になると部活動が生活のほとんどになる。

- ・ 家庭と学校の抑止力が限定的になっている。学校でアプローチできない人に対する意見を聴きたくてこの機会を設けたんだと思うが、学校に行っている人たちでもそういう世界に関わってしまって学校をやめてしまうという人もいる。

<学校ではその反抗期年代の子どもたちに何ができる？>

- ・ 罪悪感を本当に強めてしまっていていいと思う。今は罪悪感が足りすぎる印象がある。例えば一日に10万円もらえたら、罪悪感より快樂の方が勝ってるからそういうことをしてしまうんだと思う。

<罪悪感を増す教育とは？>

- ・ 言ってはいけない言葉であるという意識を植え付けることが大事。「お前大麻とかやってんの？」と聞かれて、冗談で「やってる、やってる」と返せる状態にしてはいけない。本当に冗談では済まない、本当に口に出してはいけないという認識を共有させることが大事。
- ・ 子どもは良くも悪くもすれやすい。みんながダメだって言っているならダメだと思うだろうし、ラッパーとかが大麻やってるぜみたいになんかそれをよしとする人がいる限り、うまくいかないと思うので、その分別をしっかりとほしい。

<学校以外でのプロモーションは？>

- ・ こういふ話題になると、規制などの方向に走りがち。SNSを中高生に規制するのは効果的ではなく、良い面もたくさんあると思うが、SNSのアルゴリズムで偏った情報が表示されるようになってしまう。公平な情報を流すようにしなければいけないという決まりを作れば、怪しい大人にいたるところにたどり着くリスクを低減できるのではないかな。

<学校を辞めた子どもへのアプローチは？>

- ・ コミュニティに所属していないので全部自己判断でできるのはメリットではある。もし高校に通って部活とかをしていると、この場所に来れてないと思う。ただ、時間が余っているので闇バイトができてしまうのかもしれない。忙しくて、それで頭がいっぱいになるのはある意味良いことなのかなと感じる。高校を辞めて時間ができると、SNS等で自分探しを必然的に始めることになると思う。その流れで闇バイトにたどり着いてしまう。
- ・ 高校を辞めた人のほとんどは、勉強との相性が悪い人だと思う。学ぶことに意欲がないと、何かを学ぼうと思わないと思う。
- ・ 高校を辞めて大きく変わることは、退学や停学という社会的なペナルティーが1個なくなる。学校というコミュニティから離れると、良くない世界に入り込む人もいる。

<それは周りの大人は気づいている？>

- ・ 気づいている。出ていくことを提案している人もいる。学校というコミュニティを抜けてしまった人に対して、もう一度アプローチをかけられるタイミングが一つだけあると感じている。それは高卒認定試験で、中卒だと働き口も少ないため、みんなほとんど受ける。高卒認定試験で、闇バイト・薬について、必修にするほどではないかもしれないが、取り扱えたら、勉強はしなくちゃいけないので、いい効果が出たらいいなと思う。

● **高校生ではない高校生年代の人に向けて、警察が非行や犯罪被害防止のための情報を発信する効果的な方法は何だと思えますか？**

<10代に向けての犯罪防止の情報を届けるのに良い場所や団体は？>

※参加者に付箋にて記載してもらい、イーゼルパッドへ貼付

- ・ 文科省高認
- ・ 市役所・区役所・郵便局
- ・ 地域コミュニティ(役所の市民協働系)
- ・ 大家さん・不動産会社・貸主
- ・ 駅、鉄道、交通機関
- ・ 大手アパレル
- ・ 飲料(ペットボトル)
- ・ YouTube、TikTok、Instagram、X
- ・ こどもだましじゃないリアルな学校教育
- ・ 高卒認定試験で必修科目にすればよい→「犯罪抑止」
- ・ 男性が多い(女性が少ない)コミュニティ
- ・ オンラインゲームのコミュニティ
- ・ 芸能人が呼びかける
- ・ ティッシュ・ボールペン・配られるもの
- ・ 同人イベント・コンベンション
- ・ 銀行・携帯キャリア
- ・ 短期バイト求人アプリ
- ・アントレプレナーシップ教育系のNPO
- ・ 精神障害のコミュニティ
- ・ 課外活動・留学・地域創生の場
- ・ 電子マネーとかクレジットカードの決済の後の広告で出せば良いかと思う。

<行政で思いつくものはあるか？>

- ・ 頑張っていると思うが、内容をもっと充実させてほしい。小中学校で受けた内容とかも子どもだましに感じることもあり、自分たちはそこまで子どもじゃないと思っていた。もっとリアルな内容のものが必要だと感じる。

<その他は？>

- ・ ATM 等で振り込み詐欺の注意書きが書いてあるように、「闇バイトで受け取ったお金ではないですか？」という文言を付けると罪悪感につながるかと感じる。
- ・ YouTube や Instagram をきっかけにした学生が集うコンテンツ。

<闇バイトをやっている人や被害に遭う人にどうしたらアプローチできるか？相談できる人はそういう時いるのか？>

- ・ 私たちは両親にできる。
- ・ コミュニティの人たちにすることになると思う。
- ・ そういう人たちは自分と同じタイプの人とマッチするのが上手い。どんどんつながっていける。簡単なのが難しい点でもある。
- ・ 広く浅くみんなに働きかけるのは出来ていると思う。学校でも地域社会でもちゃんとダメだといえる人が欲しい。日本は同調圧力が強く、自浄作用に頼っているいろいろな歴史があり、それをうまく利用する。厳しいことを言える人を育ててピンポイントで配置することでそのコミュニティを浄化する。
- ・ コミュニティの中で、問題意識を持っている人っていうのは一定数いるので、そういう人が言える人になってもらいたい。イベント・プログラム等を警察などが開くと興味のある人は参加すると思う。
- ・ 同人系のイベントでも、怪しい人は一定いる。
- ・ オンラインゲームでつながって実際に会ったという人は周りにいる。ゲーム中の素の自分を知っているというので仲が深まりやすいと思う。
- ・ 偏見ではあるが、男性の多いコミュニティは基本的に怖い。女性が少ないというのはそうである何らかの理由があるのではないかと感じる。男性だけに受ける理由は様々あるので、そこをよく考えられると良いと思う。

<男性の犯罪に対するモラル観はどのようなもの？>

- ・ 男性は直感で言うと多分自分は勝てるという自信がある。女性は男性と1:1となったら逃げ場がない。男性と女性はパワーの差がやはりすごい。女性はそもそも近寄らない。リスクを取らない。
- ・ 男性が多いコミュニティは自浄作用が機能しにくい。スピリチュアルな世界に没頭するコミュニティに所属する人は、同調意識が強いので、特殊詐欺等に巻き込まれやすいと感じる。
- ・ 倫理的な線引きができていないと感じている。闇バイトをして100%バレないとするならば、絶対にする人が多くなると思う。人間として語りかけるところがまだ足りないと思っている。法律がどうかではなく、そもそも人間として何で闇バイトをしてはいけないのか、本当に心に話しかけないといけないと思っていて、

捕まるからやっちゃダメなんだよと言ってしまうと、捕まらない方法を探すようになってしまう。倫理的な線引きをはっきりしておいて、なぜ人間としてそれを間違っているのかということが言える状態が望ましい。

- ・ ティッシュ配りとかペンを配るとかでも良い。中学受験の時、周りの受験生は帰りにもらった塾のティッシュやボールペンを絶対一つは持っていたので。

<こんなイベントがあれば盛り上がるのでは？>

- ・ 普段入れないところに入れるっていう方に結びつけていいと思う。例えば国会議事堂の議会とか。闇バイトはダメだという企画に結びつけられると思う。結構そういうところに興味のある人は多いと思う。

<普段 NPO と関わる？>

- ・ 精神疾患のある子や身体的にハンデのある子がメインの NPO と関わっている。課外活動とか地方創生などの活動をしている。子どもたちにリーダーシップなどの研修を充実して与えられると良いと感じる。

<その NPO はどうやって探した？>

- ・ 「ボランティア ○○区」で検索した。そういう NPO に参加する子たちがリーダーシップを持ってくれたら、同世代に言ってもらう方が効果があると思うので良いと思う。

<他のアプローチは？>

- ・ ライブ会場とか、バラエティー番組とか。警視庁全面協力で芸人へのドッキリを交えて、闇バイトの周知を行う。人気者には人が集まるので、それに関連させられれば。
- ・ オレオレ詐欺のような浸透のさせ方が良い。これぐらい社会全体で共有できれば。

<何か言い残したことは？>

- ・ 子ども家庭庁は国の行政の縦割りを壊すために生まれたと認識しており、今回は警察庁に対してこの場が設けられたんだと思うが、そもそもなんで非行をしてしまう人がいるのか等を考えると、家庭に問題があったりする。そういう部分を解決していくのも大事だと感じる。

<親とのコミュニケーションに課題はあるか？>

- ・ 子どもを見ていない。親が無関心になると、抑止力が働かなくなり、子ども側の承認欲求も膨らむ。そういう子が減れば社会は良くなっていくと感じる。

<他に思いつくことは？>

- ・ こどもの行動が親の想定できない領域に来たことが理由だと感じる。それこそ、私の人脈は両親も把握していないと思う。誰とつながっていても分からない。

<そういうことは親と話すのか？>

- ・ それこそ今日のイベントのことを私は親に話すと思うが、普通の中高生はそんなに喋らないと思う。誰と遊んだなんてことは言わなくなっていく。

<今日の感想>

- ・ 人数少なくて最初はびっくりしたが、10人とかだと逆に喋れなかったと感ずるので、言いたいことを言えてよかった。
- ・ 今回お話を伺って一番思ったのは、危ない社会になったというのではなくて、リテラシーが求められる社会になったりして、それが二極化しているんじゃないかと思う。賢い子は賢いし、分からない子は分からない、その差があまりにも激しすぎると感ずている。最低限のリテラシーの線引きを引くべきで、例えば友達以外の人と出かけてはいけなかったりとか、多分今そのハードルが下がってきているので、上げていくべきだと感ずる。

## 文書により提出された意見

※ いけんひろばに参加を希望したが、都合により参加できなかったがらすメンバーに対し、任意で文書回答（アンケート）を求めたところ、次の意見があった（原文ママ）。

＜おおむねここ3か月以内で、闇バイトや大麻の危険性についての情報を、見たり聴いたりしたことがある方にお聴きします。それはどのような内容のものでしたか。複数あった場合には、最も印象に残っているものを記載してください。＞

- ・ うまい棒を警察が配るというニュースをみて、うまい話に騙されないという呼びかけを見ました。また、テレビでは、闇バイト応募者は社会的な裏切り者であると伝えてくれて闇バイトがいかに孤立するのかなと感じました。特に特別支援学校卒業後孤立してしまうと聞きましたので闇バイトに騙されて欲しくないなど痛感しております。

＜上記の設問で回答したものについて、どのような感想を持ちましたか。また、「もっとこうした方が良いのに」と感じた点があれば、あわせて教えてください。＞

- ・ ダジャレを使ってうまい棒を配ったから凄い対策だと思いました。うまい話にはツケがある！明日は我が身です。

＜高校生ではない高校生年代の人に向けて、警察が非行や犯罪被害防止のための情報を発信するには、どんな方法がよいと思いますか。あなたのアイデアを教えてください。なお、アイデアの数は何個でもかまいません。＞

- ・ 認知症患者や精神疾患や知的・発達障害者や、低所得世帯などは、フェイクニュースに騙されやすく感情的な政権公約に騙されやすい傾向があるのと同じで、闇バイト広告の求人も感情移入されてしまい、応募した結果騙されやすい傾向である。高校生以降のソーシャルスキルトレーニングは、「キャリア教育」の一環として20代以降にも適応される。その教育の一環として15歳以上の中学生のSST教材として「投資詐欺」、「闇バイト」、「副業詐欺」などを教材として扱うべきです。我々、知的発達障害が当事者も教習用として学習します。特別支援学校高等部、発達支援機関、就労継続支援事業所、就労移行支援事業所、放デイ等のカリキュラムに組み込ませることを提案してください。